

第1学年1組 外国語（英語）科 学習指導案

指導者 JET 北澤 宏 ALT KATIE HILL

1 単元 Unit8 はじめてのカナダ旅行

2 単元の見通し

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

会話を続けるための技法を取り入れながら、間違いを恐れずにコミュニケーション活動に積極的に取り組んでいる。

(2) 表現の能力

自分の考えなどが相手に伝わるように、適切な表現・発声で、2文以上で応答できる。

(3) 理解の能力

相手が話した内容を正確に聞き取ることができる。

(4) 言語や文化についての知識・理解

場面や状況にふさわしい表現を理解している。

3 指導にあたって

(1) 生徒の実態

英語に関する意識調査 (平成18年10月18日実施 城ノ内中学校第1学年1組 34人)

- | | |
|---|---|
| 1 | あなたは、もっと英語を話せるようになりたいですか。
なりたい (12人) どちらかというとなりたい (18人)
あまりなりたいと思わない (4人) なりたくない (0人) |
| 2 | あなたは、英語で話すことは好きですか。
とても好き (7人) まあまあ好き (19人) あまり好きでない (7人) 好きではない (1人) |
| 3 | 英語で話すことをどのように感じていますか。
やさしい (2人) やさしい方だ (7人) 難しい方だ (17人) 難しい (8人) |
| 4 | 3の質問で、そのように答えたわけを、分かりやすく書いてください。複数回答可
英語を話すのが楽しいから (7人) 発音が分からない、難しいから (17人)
覚えるのが大変だから (9人) 語順が分からないから (3人) その他 (7人) |
| 5 | 授業での話す活動は、あなたの英語の学習に役立っていますか。
役立っている (12人) まあまあ役立っている (16人)
あまり役立っていない (5人) 役立っていない (1人) |
| 6 | 今までの授業で、英語で友達と会話練習した時、日本語を使いましたか。
まったく使わないでやった (1人) 少し使ってやった (18人)
あまり使わないでやった (11人) たくさん使ってやった (4人) |

「英語を話せるようになりたい、どちらかというとなりたい」と回答した生徒が30人、「英語で話すことが好き、どちらかというとなりたい」と回答した生徒が26人であった。一方、「英語で話すことは難しい、難しい方だ」と回答した生徒が25人いることから、「英語は話したいが難しい」と考えている生徒が非常に多いことがうかがえる。また、授業での話す活動が「役立っている、まあまあ役立っている」と回答した生徒が28人いる。これらのことから、生徒の「英語で話せるようになりたい」という思いを実現するには、互いに考えや気持ちなどを述べ合ったり、質問して確かめたり、また、あいづちをうちながら会話したりするなどの技法を身に付けながら、英語をコミュニケーションの道具として使用する経験を十分に積み重ねることが重要だと考える。

(2) 指導観

文法的な面では複雑な表現が増え、学習の内容や量に十分に対応できずに苦手意識をもつ生徒が増えてくる時期である。また、授業においては、生徒が英語を活用しつつ主体的にコミュニケーション活動に取り組めるような場面が決して多くはなかった。

生徒の「英語で話せるようになりたい」という気持ちを実現するためには、「聞くことや話ことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う」ことが外国語教育の目標であるという原点に立ち帰ることが大切であると考え。そのためには、コミュニケーションの道具として生徒が英語を活用 (Output) する場を、授業の中で保証することが求められる。

本単元では、新出言語材料として Where や Whose の表現を扱うが、既習事項を含め Wh-, How

の疑問文を活用できれば、会話の幅を大きく広げることができる。そこで、コミュニケーション活動を行うことを中心に授業を展開し、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことにつなげていきたい。また、Output の基礎となる確実な Input も重要なので、Input と Output のバランスを考えた授業展開を工夫していく。

4 指導計画及び評価の規準

時間	学習内容及び活動	コミュニケーションの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化に関する知識・理解
1	Special Program 1 「今までに習った表現を使って会話を楽しもう！」	間違いを恐れず自分の考えなどを話している。 (観察, 発表, 録音, 自己評価)	聞かれたことに対して、適切な表現・発声で、2文以上で応答できる。 (観察, 発表, ワークシート)		
2	Unit 8 Part 1 場所を尋ねる表現とその応じ方 Where's~? It's on/under/by~.	ペアワークやグループワークで相手と協力し合っている。 (観察, 発表, 録音, 自己評価)		伝えられた内容を正しく聞き取ることができる。 (観察, ワークシート)	
3	Unit 8 Part 2 持ち主を尋ねる表現とその応じ方 Whose bag is this? It's mine/yours/Tom's.	間違いを恐れず積極的にグループワークに取り組んでいる。 (観察, 発表, 録音, 自己評価)			語句や文を正しく発音する知識を身に付けている。 (観察, 録音)
4	Unit 8 Part 3 人称代名詞の目的格 That's Mike. Do you know him?	つなぎ言葉を用いるなど不自然な沈黙をせずに話している。 (観察, 発表, 録音, 自己評価)	話そうとすることを聞き手に正確に伝えることができる。 (観察, 録音)		
5 本時	Special Program 2 「ALT に友達を紹介しよう！」	学んだ表現を使いながら、間違いを恐れず言語活動を行っている。 (観察, 発表, 録音, 自己評価)			場面や状況にふさわしい表現を理解し、その使い方を知っている。 (観察, 録音)

5 本時の指導

(1) 目標

- 応答の際に自分の考えを言ったり一言加えて話したりするなど、場面や状況にふさわしい表現を用いて会話することができる。
- Wh-の疑問文を活用した情報を集める活動に、間違いを恐れずに取り組むことができる。

(2) 授業展開

展開	学習活動	指導上の留意点・評価	
		JET	ALT
気づくとらえ	1 Greeting, Small talk	・英語を話す雰囲気を作るために、挨拶から Small talk に入る。 ・生徒を会話に引き込むような発話をする。	・会話を続ける Model となるように、JET と Small talk を行う。
	2 学習内容の確認をする。	・Special program 1 の復習をかねて本時の課題を示す。	

会話を続けるための方法を考えよう！			
見 通 す	<p>3 Let's try</p> <p>会話を続けるための質問に対する応答の仕方を考え、発表する。</p> <p>*“What animal do you like?” に対する応答を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の応答が会話のふくらみにつながることを示す。 ・生徒の発表の内容を肯定的に評価し、生徒の自信につながるようなフィードバックをする。 ・相づちや切り返しの表現などの既習事項を活用して、3～4往復の会話がのやりとりができることが望ましいことを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 場面や状況にふさわしい表現を理解することができたか。 (発表, ワークシート) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・JET と対話例を示す。 ・会話を通して応答の仕方を体感できるように、机間指導しながら生徒に話しかける。 ・生徒が共通して間違えていることや身に付けたい会話の技法などについて助言する。 ・生徒の活動意欲を高めるために、生徒が考えた会話の発表の時に相手役となる。
取 り 組 む	<p>4 Useful Expressions を身に付ける。</p> <p>5 Try out</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> Katie 先生に仲間を紹介するための情報を集めよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 2mins. → 説明 6mins. → Free talk 6mins. → 振り返り 6mins. → Free talk </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントで示した語句のうち主な物については、発音だけでなく会話の状況で生徒がとらえられるように ALT と例を示す。 ・正確な発音になるように注意を促し、繰り返し発声の練習をする。 ・生徒の活動状況を観察しながら、理解が不足している生徒には個別に指導する。 ・一人の仲間についてできるだけ多くの詳細な情報（好きな食べ物、教科、スポーツ、人物、その理由など）を聞き出すことが次の活動につながることを強調する。 ・振り返りの時間を有効に活用するために、周囲の生徒と相談してもよいことを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 級友の情報を集める活動に、間違いを恐れずに取り組むことができたか。(観察, 自己評価, 録音, ワークシート) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が Useful Expressions で応答できるような内容を、生徒に話しかける。 ・Model pronunciation を示す。 ・生徒の活動を観察し、気付いたことを助言する。 ・生徒が積極的に英語を使う雰囲気作りを意識しながら、生徒の会話に加わる。 ・観察したことを通して、生徒に共通した間違いやよかった点などを振り返りの時間に Feedback する。
振 り 返 る	<p>6 Self evaluation</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自信や達成感を持たせるられるように良くできたことを認め励ます。 ・自己評価では、自己の理解度を確認させるとともに質問欄への記入を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自信や達成感を持たせるられるように良くできたことを認め励ます。

Special Program 2

Today's theme . . .	ALT に友達を紹介するための情報を集めよう！
Target sentences	Wh-疑問文 Yes,...../NO,..... + 1 phrase (or more) + 話を促す phrase
Expressions I want to say	なにが～ですか？ どこが～ですか？ なぜ～ですか？ だれが～ですか？ 何個～ですか？ そうですね。わかりました。それで？
Useful expressions	Hi,○○ san. How are you? Excuse me. Is that right? That's right. I see. Who? What? Why? How about you? And you? Nice talking with you. (Have a) good day. See you.

展開	生徒の活動
<p>1 Greeting → Small talk (5mins.) 2 会話を続けるための質問に対する応答の仕方を考えよう。 3) Let's Try (12mins.)</p> <p>3 Useful Expressions の定着 (8mins.)</p> <p>4 Try out (20mins.) 会話を続ける活動を通して友達のことをもっと知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2mins. → 説明 6mins. → Free talk 6mins. → 振り返り 6mins. → Free talk</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に会話に入り込む。 ・“What do you have for breakfast?” に対する応答を考え、発表する。 ・上記の応答に対する応答を考え、発表する。 ・会話がふくらむように会話文を創作し、会話を続けるための技法を学び合う。 ・互いの考えを発表し合い、友達の発想から学び取る。 ・活用したい表現を調べる。 ・Useful Expressions を教師との対話の中で習得できるように、教師と pattern practice を行う。 I like P.E. It's fun.— Me, too. I don't like swimming. It's not easy.— Me, neither. など <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>始め : Hi,○○ san. How are you? or Excuse me. 終わり : Nice talking with you. (Have a) good day. See you.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・会話のマナーを身に付ける。 *今まであまり会話をしたことのない級友と会話するように促す。 ・Wh-の疑問文や Useful Expressions を積極的に活用し、間違いを気にせず会話を続ける。 ・5分間（一人あたり1分以上）話したら、自分の席に戻って振り返る。言いたいのに言えなかった表現、会話を続けるために必要な工夫などをまとめ、調べたり、聞いたりする。 ・2回目の会話に生かす。 ・あまり話したことのない友達の情報を得る。 ・宿題 得た情報を基に、友達を紹介する文を書いてくる。
5 Self-Evaluation (5mins.)	<ul style="list-style-type: none"> ①会話を続けるための方法を見つける活動 ②会話を続ける活動 ③疑問点

Let's Enjoy Talking In English! (Special 2 ①)

1 - NO. NAME

1) Target

「今までに習った表現を使って、会話を楽しもう！ Part2」

2) Strategy (会話を続ける裏技)

「弾む会話、ふくらむ会話にするには・・・」(裏技その2)

あいづちをしながら聞いて答え、質問もしよう！

3) Let's Try!

Q.1 “What do you have for breakfast?”

I have ~. + [自分の思いや考え, 質問などを足そう]

Q.2 Q1 で言った自分の言葉に対して、相手は、次にどんなことを話したり質問したりしてくるだろう？

Q.3 Q2 に対して、どのように答えよう？

Q.4 Q3 に引き続き、想像してどこまでも会話をふくらまそう！

Let's Enjoy Talking In English! (Special 2 ②)

4) Useful Expressions (別紙)

5) Try Out 【Write about your classmate】

**たくさん情報を集めて、仲間をもっともっと知ろう！
そして、仲間について5文以上の英文で紹介しよう！**

会話のマナー

目は口ほどにものを言う。みんなどんなふうには話してる？

分かったことを書き留めよう。(日本語でも英語でいいよ。)

_____ さんは

_____ さんは

_____ さんは

Short Break (前半の振り返り)

伝えなかったのに言えなかった表現、言葉に詰まってしまったことなど書いておこう！

_____ さんは

_____ さんは

_____ さんは

Let's Enjoy Talking In English! (Special 2 ③)

6) Self-Evaluation (自己評価)

① 友達と会話を楽しむための方法を考える活動

A B C D

感想（わかったこと，うまくいったこと・いかなかったことなど詳しく。）

② 友達と会話を楽しむ活動

A B C D

感想（わかったこと，うまくいったこと・いかなかったことなど詳しく。）

③ 友達と英語を楽しむ活動をどのように行えましたか？

A：ほぼ英語だけで（90%以上）

B：だいたい英語で（70%以上）

C：日本語がけっこう多かった（50%）

D：英語がとても少なかった（30%）

④ Questions & Teacher's comments

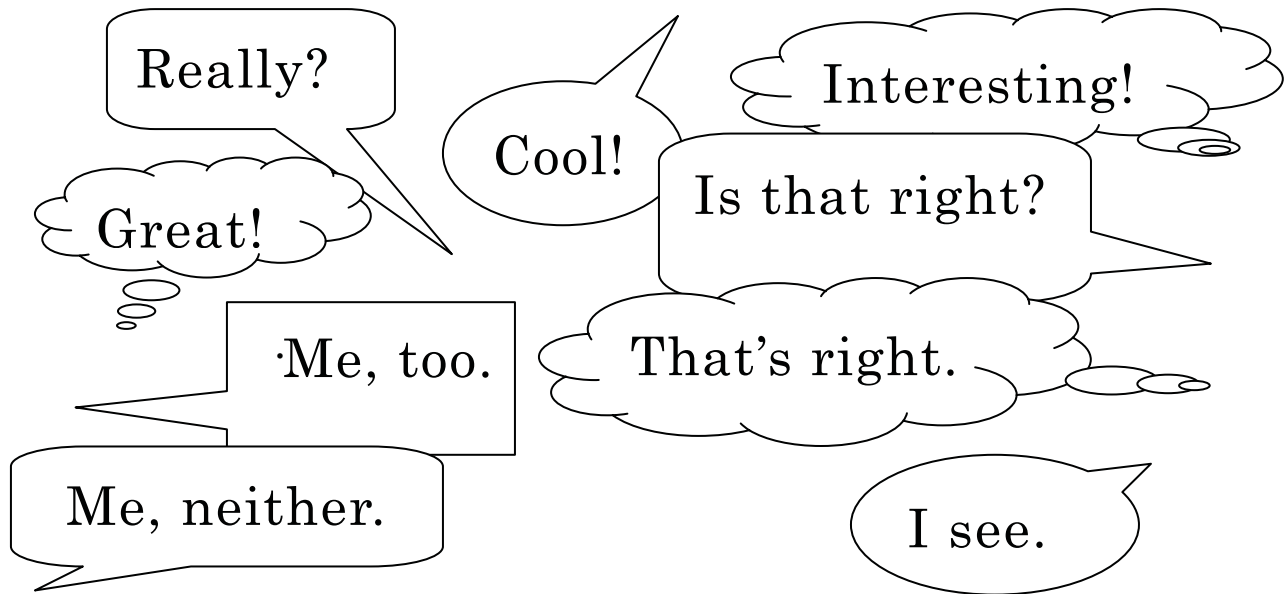
疑問点（分からなかったことや質問などを最低一つは書きましょう。）

先生から

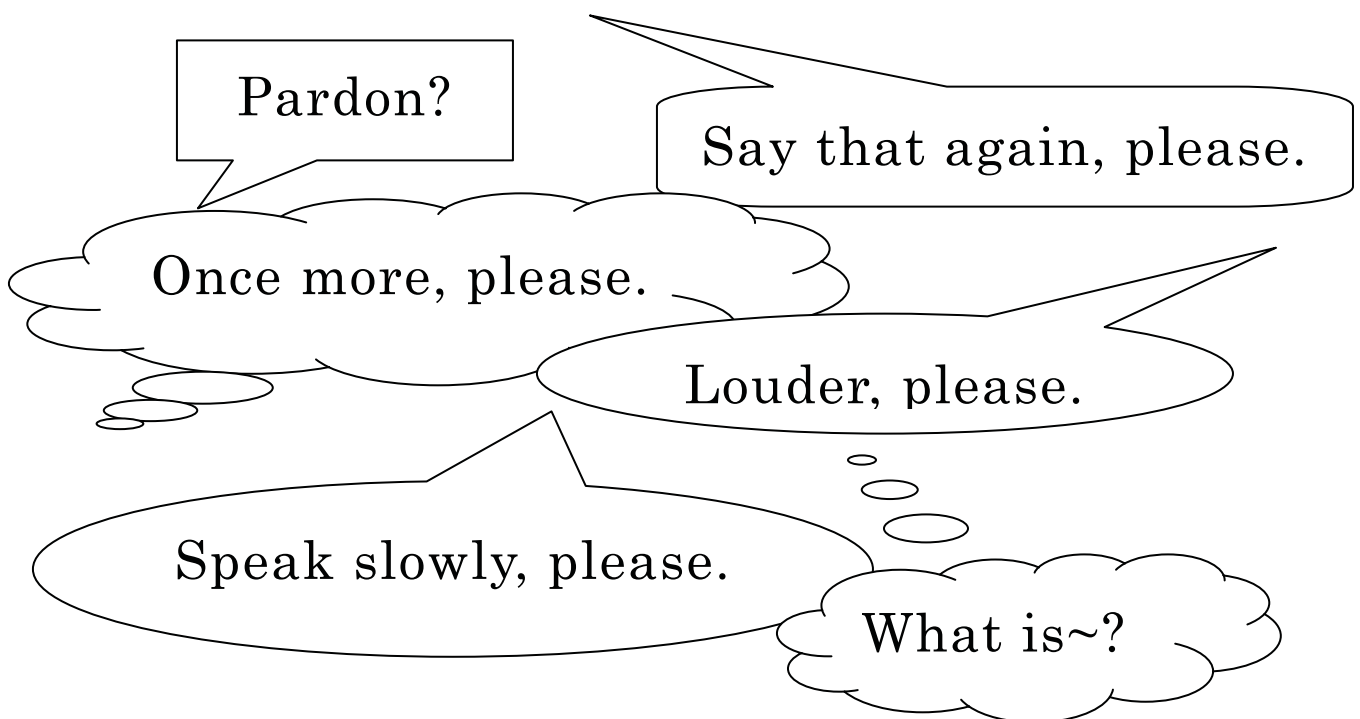
5) Useful Expressions

Special 1

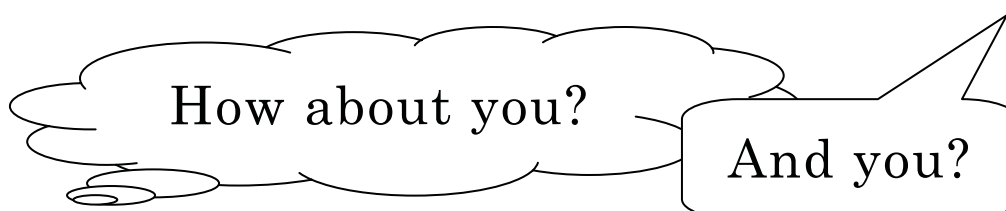
1 相手の言ったことに反応しよう！(いろいろなあいづち)



2 相手の言ったことをうまく聞けなかったときは？

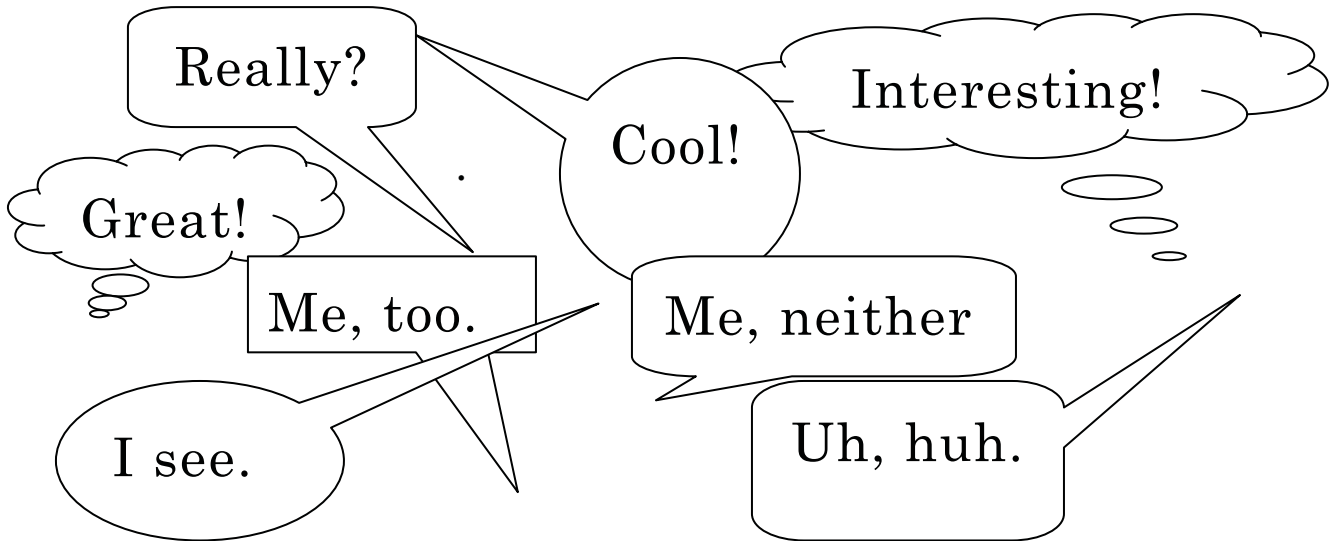


3 相手がどう思っているのか聞きたいときは。

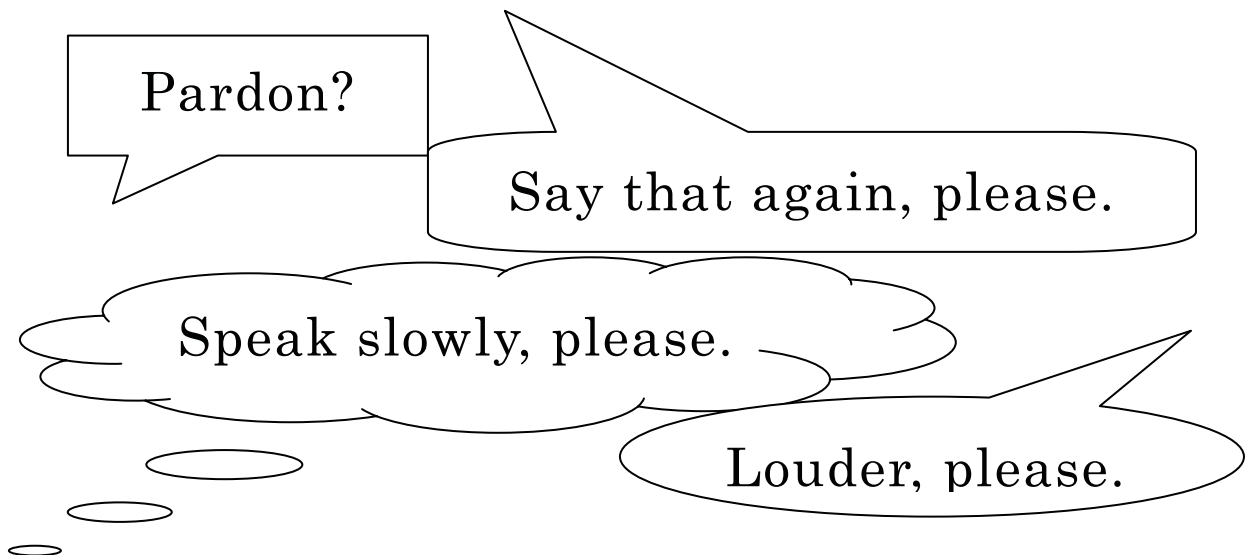


Useful Expressions for Program8 Part1

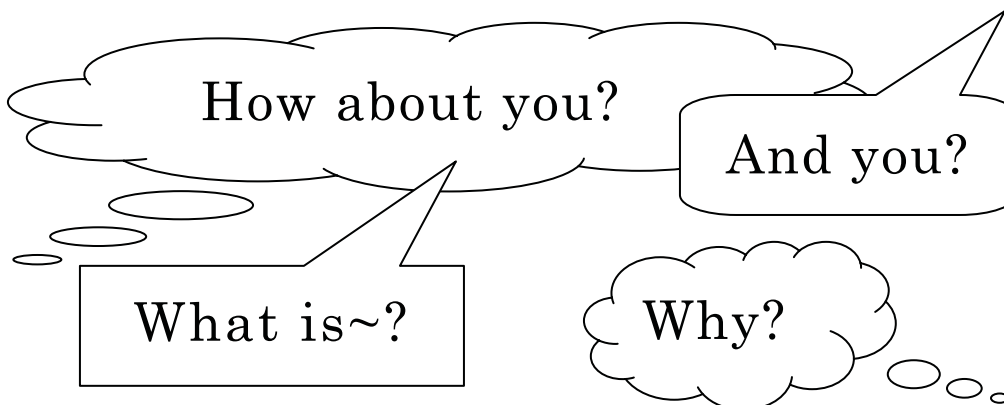
- ① 相手の言ったことに反応しよう！(いろいろなあいづち)



- ② 相手の言ったことをうまく聞けなかったときは？

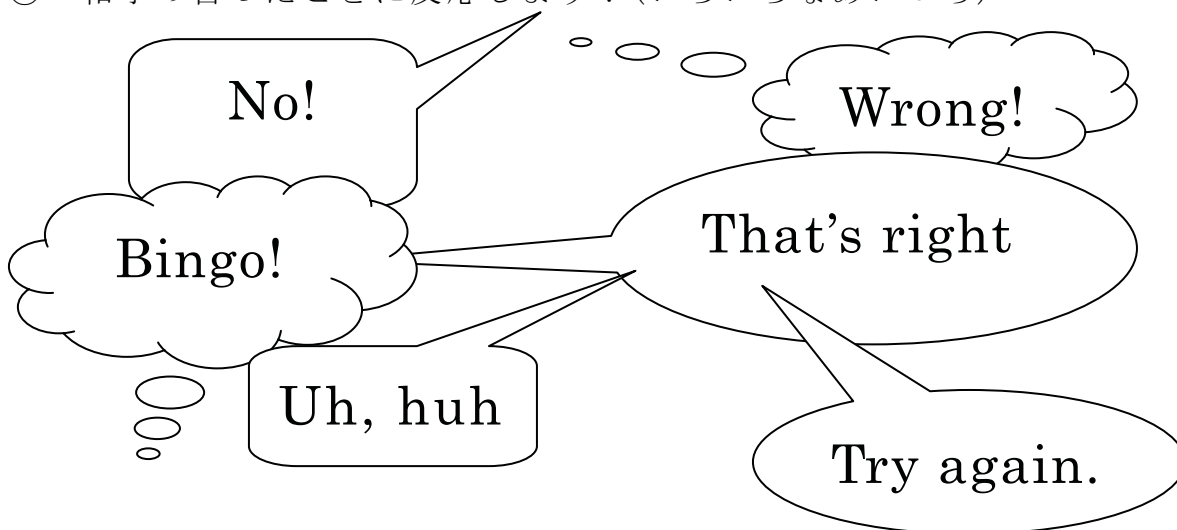


- ③ なぜだか知りたい。詳しく聞きたい。相手がどう思っているのか聞きたい。

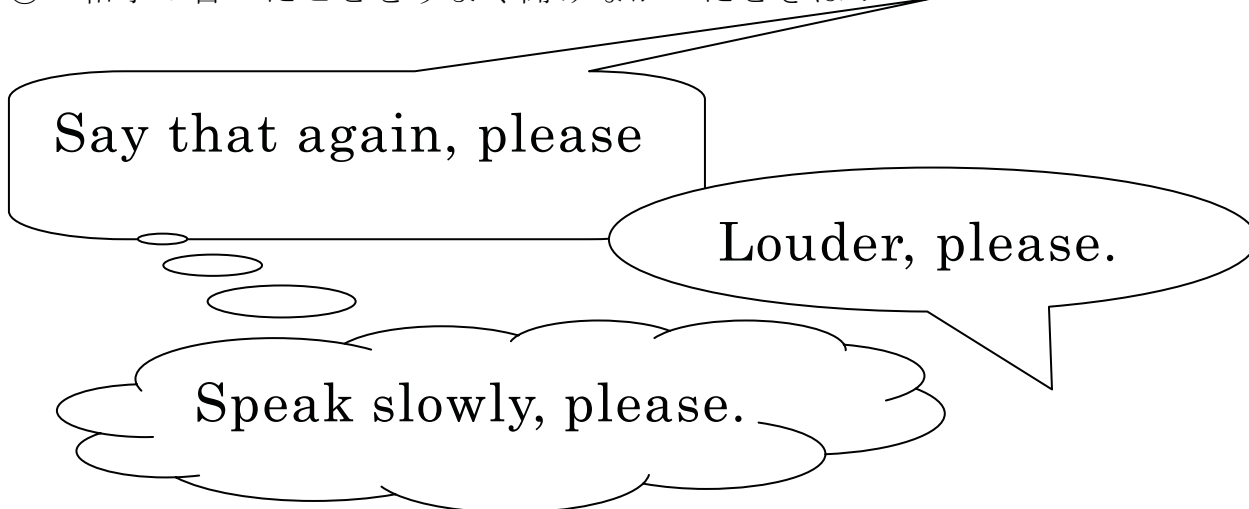


Useful Expressions for Program8 Part2

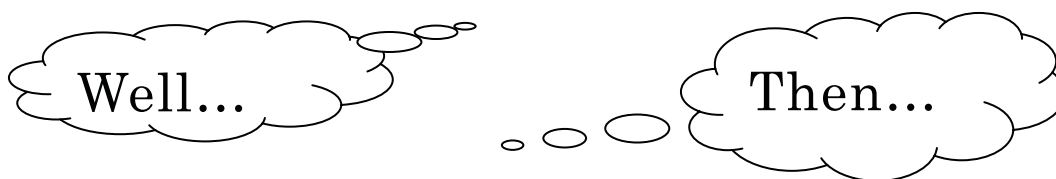
- ① 相手の言ったことに反応しよう！（いろいろなあいづち）



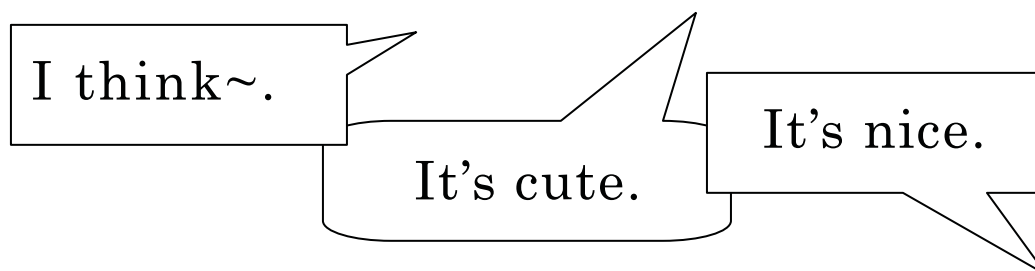
- ② 相手の言ったことをうまく聞けなかったときは？



- ③ 「えーっと、それじゃあ」と間を置くときは・・・

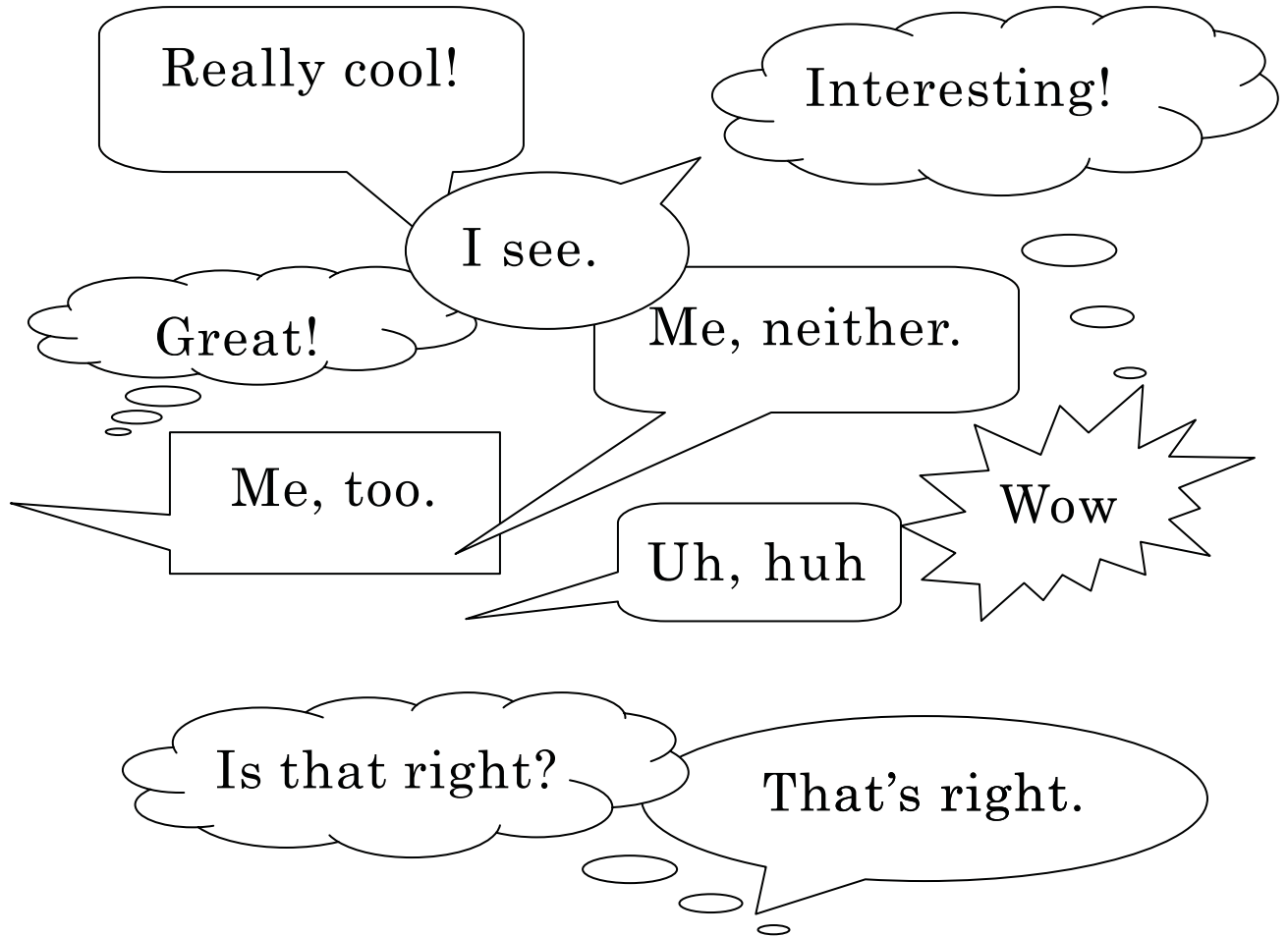


- ④ 「わたしは～と思う。」 自分の考え，感想を言う。

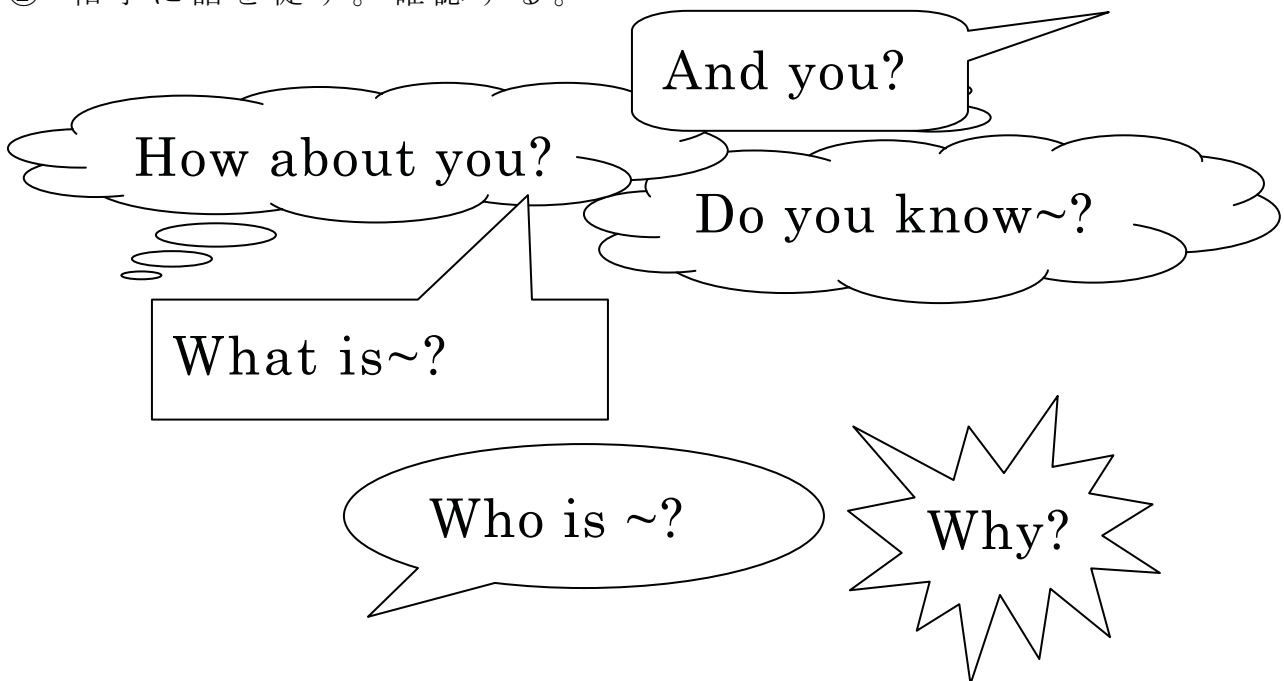


Useful Expressions for Program8 Part3

① 相手の言ったことに反応しよう！(いろいろなあいづち)



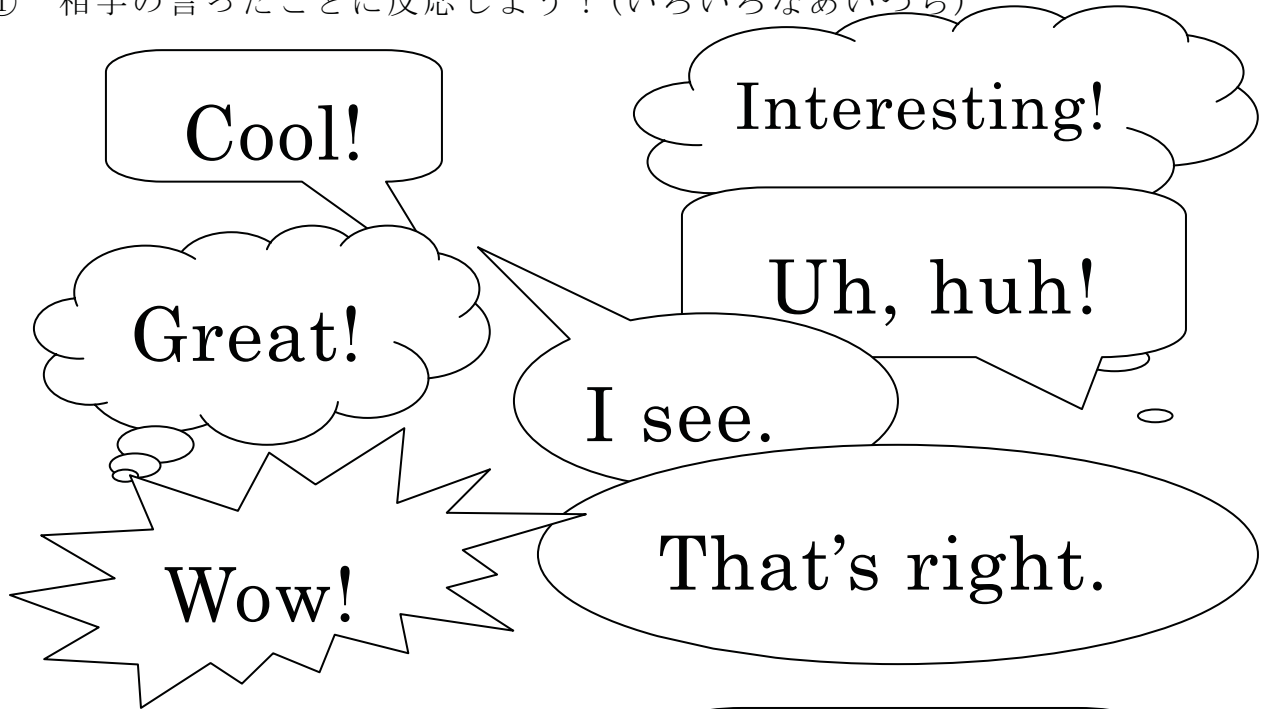
② 相手に話を促す。確認する。



3) Useful Expressions

Special 2

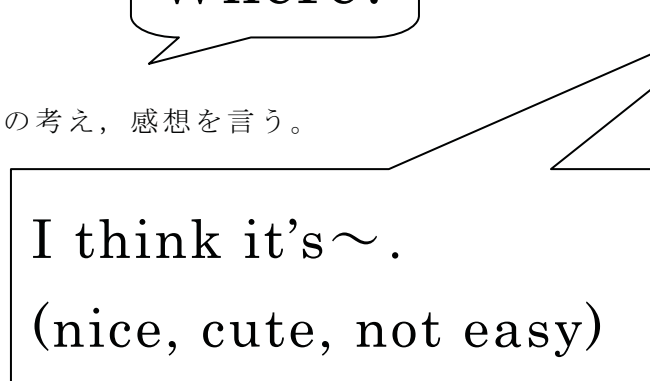
① 相手の言ったことに反応しよう！(いろいろなあいづち)



② 相手に話を促す。確認する。



④ 「わたしは~と思う。」 自分の考え、感想を言う。



Wh-の疑問文。知っておくと便利だよ！

Why do you like English?—Because it's interesting and cool.

What sports do you like? (color / TV program / subject) —I like ~.

What is your favorite song? (your favorite animal / your hobby /
this) —It's ~.

What do you have for breakfast? (do after school /
want for your birthday present)—I have(want) ~.

Who is that tall man? (Kenji /she) —He is ~. / She is ~.

Who is your favorite soccer player. (singer / movie star)
—Tanaka Tatsuya is. / Hirai Ken is.

Where are you from? —I'm from Osaka.

Where do you live? —I live in Ryugasaki, Fujigaoka.

Where is my cat? (my bike / she / his brother)
—It's under the desk. / It's on the chair.

How is the weather? —It's cloudy. / It's sunny. / It's rainy.

How do you study English? (come to school / play *shogi* /
use this computer)—I write a lot. I listen to *kisoeigo*.

How many CDs do you have? (comic books / sisters and brothers /
cars) —About 10. / One sister and one brother.

How old is your dog? (your grand father / he)
—It's four. / He's 88 (years old).

How long do you watch TV? (study English / practice volleyball
on Sundays / sleep every day)—2 hours. / I don't watch TV.